

1 住宅寿命を伸ばす制度がスタート

日本は世界一の長寿国ですが、世界的に見れば日本の住宅の寿命は30年足らずと短く、国をあげて長く住める優良な家作りのための制度が平成21年にスタートしました。この制度では、屋根は点検しやすく、安く維持管理できるような形が提案されており、屋根のリフォームでも取り入れたいものがたくさんあります。

これからは
住まいも
長寿に！



理由6

住宅寿命が延び、メンテナンス費用も減らせます。

手入れの手間が少なく長寿命の家は屋根がポイントです

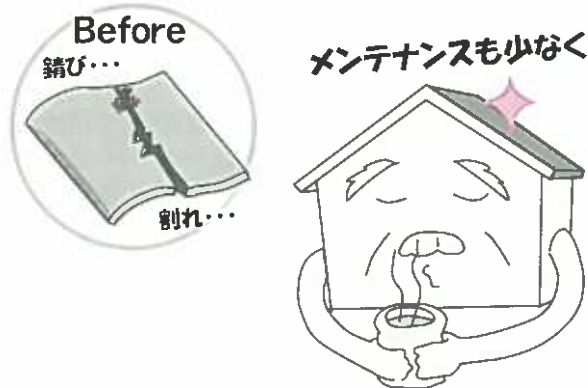
2 屋根裏換気が長持ち住宅の決め手

屋根裏は湿気が多く、屋根材を乗せる下地が劣化しやすい場所です。下地が劣化すると屋根全体が波打ったように変形し、雨漏りが発生しやすくなります。住宅を長持ちさせるためには屋根裏に換気口をつけるリフォームが非常に有効です。屋根裏換気は屋根の一番上にある棟と呼ばれる部分取り付ければ効率よく換気をすることができます。



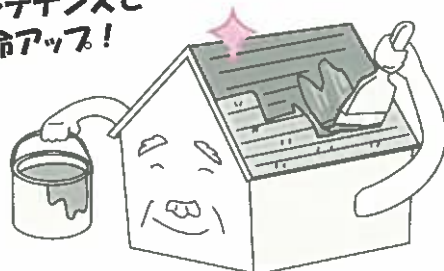
3 屋根材のメンテナンスを少なくできた

雨漏りは屋根材の劣化や割れやズレが主な原因です。以前は屋根材を留めていたビスが鉄製だったためのビスが腐食して瓦が割れる現象も発生しました。最近のビスはステンレス製で出来ているため、錆びにくく瓦のメンテナンスをする必要性も減っています。



知っておきたい豆知識

メンテナンスで
寿命アップ！



スレート屋根は塗り替えて寿命アップ

最近では軽さとデザインで人気のスレート屋根ですが、紫外線や風雨など過酷な環境に置かれる表面は塗装によるメンテナンスが定期的に必要なです。以前は石油が原料の有機塗料と呼ばれる塗料が多く用いられていましたが、劣化しやすく、汚れやすいという欠点がありました。最近は無機塗料と呼ばれる、劣化しにくく汚れが付きにくい材料も、10年以上塗り替えしなくても済む塗料があります。